

NISHIWAKI



西脇ライオンズクラブ
国際協会335-D 地区3R-2Z

LIONS CLUB NEWS

会長テーマ — 協働 —



Vol.53 No.8 2015.2.17発行



市内3高等学校との協働作業



会長 L岡本和明

<2月第1例会挨拶>

会員の皆様こんにちは、本日も例会出席ありがとうございます。

2月は例会日が第1火曜日と第3火曜日になっておりますので、1月第2例会日から1週間での開催とあって、あっという間の到来です。

前例会日の日中は、時期としては珍しく暖かく感じておりましたが、翌日28日からは寒さの再来で本日までその寒さが続いております。

本日2月3日は「節分」です。今年の恵方は「西南西のやや西」となっています。この方角に歳徳神（としとくじん＝その年の福をつかさどる神様）がいると言われております。節分にその年の恵方に向けて食べると縁起が良いとされる太巻き。別名、丸かぶり寿司、恵方寿司、吉方巻きとも言われます。大阪の船場で商売繁盛の祈願をする風習として大正初期に始まったともいわれますが、正確な起源は分かりません。

「節分」とは、その漢字も示すとおり「季節を分ける」という意味を持っています。四柱推命などでは、2月4日を1年のはじまりの「立春」と位置づけています。なので、2月3日は「大晦日」ということになり、その日に縁を切るという意味で「節分」という行事を行っていると言われております。つまり、2月3日は、その年と決別し、新たなスタートを切る日なのです。

恵方巻きの食べ方は、「切らずに」「無言で」お祈りしながら食べます。この「切らずに」は、「縁を切らないように」という意味で、「無言で」は、「口から福が逃げないように」という意味だそうです。

本日の食事は恵方巻きですが、食べやすいように切っております。今晚、私は家内と二人で、会員の皆様との縁を大切に、残りの在任期間のクラブ運営が無事務められますようお願いして食したいと考えております。

2月15日の日曜日には、西脇多可高校新人駅伝大会が開催されます。天候が駅伝日和になればと期待しております。西脇ライオンズクラブは恒例のぜんざい炊き出しを行いますので、多くの会員皆様のご協力をお願い申し上げます。同時に、2月8日に準備致します市内3高等学校との「協働」作業によるプランターもコース内に並べますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

、2/13 和明

市内3高等学校との協働奉仕作業

平成27年2月8日

会長 岡本和明

2月8日午前8時からの協働作業の準備に西脇ライオンズクラブメンバー26名が参加していただきました。天気を心配していましたが、担当副会長L田中功並びに社会奉仕委員会委員長L高橋博久の願いが届いたのか、前日までの天気予報では朝から小雨となっておりましたが、午前9時からの市内3高等学校の学生110名とのプランターの花植えの作業終了まで何とか天気はもちました。当日は、あいにく私自身業務のため協働作業前に現場を離れてしまい参加できなかった事が非常に残念でした。

2月14日にはこのプランター220個のコースへの配置作業がございますので、メンバーの方々には大変お世話になります、ご協力のほどお願い申し上げます。2月15日の西脇多可高校新人駅伝大会の本番では、コースを駆けぬけるランナー達にこの協働作業に関わった人達全員のあたたかい声援をとどけることができると思っております。



3高校生との協働作業を終えて

三事業委員会 主幹 社会奉仕委員会 委員長 高橋博久

今年も参加してくれるだろうか？

何人の生徒が参加してくれるだろうか？

前日には、雨が降ったらどうしよう？会場は分かるだろうか？などなど高校訪問から実施まで、心を悩ませたが、お蔭をもって3校で120余名の参加をいただき、天候にも恵まれ和気あいあいと240のプランターに可憐な花が定植できました。駅伝ランナーが読んでくれることは不可能であるが、各地から参加してくれた選手諸君が気持ちよく走ってくれるようにとの強い祈りを込めて、応援メッセージをプランターに書いて下さいとお願いをしました。その想いを込めて真剣に書いてくれる姿に感動を覚えました。きっと参加してくれた選手諸君に、彼らの祈りや念いが伝わるものと信じます。

